

## 1 月別気象概況 (2019年1月～12月)

福岡管区気象台

### (1) 1月の気象概況

#### 上旬： 高気圧と低気圧や寒気の影響で、天気は数日の周期で変化 少雨

- ・高気圧に覆われて晴れた日もあったが、1日と中頃や終わりには、低気圧や寒気の影響を受けて曇りとなった日が多く、弱い雨が降った日もあった。
- ・気温は、はじめは平年並か低く経過したが、旬の平均では概ね平年並だった。降水量は、県内各地で平年を下回り、過半数の地点ではかなり少なかった。日照時間は、平年並か多かったが県南部の一部で少なかった。
- ・県内各地の旬平均気温は、4.1～7.4℃（平年差 -0.4～+0.6℃）で、概ね平年並だった。旬降水量は、0.0～6.0mm（平年比 00～25%）で、平年よりかなり少ないか、少なかった。旬日照時間は、平年比 88～125%で、平年並の所が多かった。

#### 中旬： 天気は数日の周期で変化 寒気の影響は一時的

- ・高気圧と気圧の谷や寒気の影響を交互に受けて、天気は数日の周期で変化した。12日から13日にかけてと20日は気圧の谷の影響で雨となった。16日は冬型の気圧配置となったが寒気の流れ込みは長続きせず影響は小さかった。
- ・気温は、16日と17日は平年を下回る所があったが、その他の日は大きく上回り、旬の平均では県内各地で平年を上回った。降水量は、県内各地で平年を下回った。日照時間は、ほとんどの地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、5.7～8.8℃（平年差 +1.5～+2.6℃）で、平年より高くなりかなり高い所が多かった。旬降水量は、6.5～13.5mm（平年比 26～45%）で平年より少なく、旬日照時間は、平年比 98～139%で平年並か多かった。

下旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れ 後半は寒気や気圧の谷、低気圧の影響により数日の周期で天気の変化 多照

25日から26日にかけて「大雪に関する福岡県気象情報」を発表

26日は、福岡で積雪、ひょう、雷を観測

26日は、朝倉で「日最大風速・風向」「日最大瞬間風速・風向」の1月の極値を更新

空港北町、行橋、博多で「月平均気温の高い方から」の1月の極値を更新

八幡で「月間日照時間の多い方から」の1月の極値を更新

- ・期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。26日は冬型の気圧配置が強まり、日本海から発達した雪雲が南下したため、積雪や雷、ひょうを観測した。その後、天気は数日の周期で変化し、28日と31日は気圧の谷や低気圧の影響で雨となった。
- ・気温は、26日と27日は平年を下回ったが、その他の日は大きく上回り、旬の平均では県内各地で平年を上回った。降水量は、ほとんどの地点で平年を上回った。日照時間は、県内各地で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、4.4～8.0℃（平年差 +1.0～+2.2℃）で、平年より高くかなり高い所が多かった。旬降水量は、14.0～58.0mm（平年比 79～187%）でほとんどの地点で平年より多く、旬日照時間は、平年比 138～185%で平年よりかなり多かった。

## (2) 2月の気象概況

### 上旬：高気圧と低気圧の影響で、天気は短い周期で変化 高温

- ・期間を通して、高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。
- ・気温は、終わりに平年並か平年より低い日あったが、旬の平均では多くの地点でかなり高かった。降水量は、県内各地で平年並みか平年を上回り、複数の地点ではかなり上回った。日照時間は、県内全域で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $6.7\sim 9.4^{\circ}\text{C}$  (平年差  $+1.7\sim +3.1^{\circ}\text{C}$ ) で、かなり高かった。旬降水量は、 $6.5\sim 69.0\text{mm}$  (平年比  $56\sim 366\%$ ) で、県の南部で平年より多いか、かなり多かった。旬日照時間は、平年比  $60\sim 93\%$  で、県の南部では平年よりかなり少なかった。

### 中旬：高気圧と低気圧の影響で、天気は数日の周期で変化

12日、14日、18日に、「高温に関する異常天候早期警戒情報」を発表  
19日 九州北部地方（山口県を含む）で「春一番」が吹く

- ・高気圧と低気圧や寒気の影響を交互に受けて、天気は短い周期で変化した。11日、15日、19日を中心に低気圧や寒気の影響で雨となった。19日は春一番が吹き、各地で気温が高かった。
- ・気温は、旬の初めから中頃にかけて平年を下回る所があったが、終わりは大きく上回り、旬の平均では県内各地でほぼ平年並みだった。降水量は、県内各地のほとんどの地点で平年並みだった。日照時間は、平年並みか平年を下回り、多い地点はなかった。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $6.0\sim 8.5^{\circ}\text{C}$  (平年差  $\pm 0.0\sim +0.9^{\circ}\text{C}$ ) でほぼ平年並みだった。旬降水量は、 $15.0\sim 46.0\text{mm}$  (平年比  $48\sim 144\%$ ) でほぼ平年並みだった。旬日照時間は、平年比  $71\sim 102\%$  で平年並みか平年より少なかった。

下旬：期間のはじめから中頃にかけて高気圧に覆われて晴れ 終わりは低気圧や前線の影響で雨

21日、25日、28日に、「高温に関する異常天候早期警戒情報」を発表  
博多で「月降水量の少ない方から」の2月の極値を更新

- ・期間のはじめから中頃にかけて概ね高気圧に覆われて晴れた日が多かった。27日夜から28日にかけて低気圧が九州の南岸を通過した影響で雨となった。
- ・気温は、期間を通して平年より高く、旬の平均ではほとんどの地点で平年を上回った。降水量は、ほとんどの地点で平年より少なかった。日照時間は、ほとんどの地点で平年並みだった。
- ・県内各地の旬平均気温は、7.7～10.6℃（平年差 +0.4～+3.0℃）で、ほとんどの地点で平年より高かった。旬降水量は、10.0～23.5mm（平年比 41～67%）でほとんどの地点で平年より少なく、旬日照時間は、平年比 102～128%で、多いところもあるがほとんどの地点で平年並みだった。

### (3) 3月の気象概況

上旬：高気圧と低気圧の影響で、天気は短い周期で変化 多雨

10日に、「暴風と高波に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間を通して、高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。
- ・気温は、期間の終わりに平年並の日があったが、旬の平均では県内全域で高いかかなり高かった。降水量は、県内全域で平年を上回り、ほとんどの地点でかなり上回った。日照時間は、県内全域で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、8.3～10.8℃（平年差 +1.3～+2.2℃）で、高いかかなり高かった。旬降水量は、75.0～118.0mm（平年比 161～263%）で、県のほとんどの地点でかなり多かった。旬日照時間は、平年比 72～82%で、県全域で少なかった。

中旬： 晴れの日が多かったが、天気は短い周期で変化 多照

11日から13日にかけて、「落雷と降ひょうに関する福岡県気象情報」を  
発表

12日は、筑後市で突風被害が発生

13日は、大牟田で「日最大風速・風向」の3月の極値を更新

14日から16日にかけて、「落雷と降ひょう及び突風に関する福岡県気象  
情報」を発表

- ・期間を通して、高気圧と低気圧や前線が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。12日から13日にかけてと15日から16日にかけては、上空に強い寒気を伴った気圧の谷が通過したため、大気の状態が非常に不安定となり雷雨となった所があった。筑後市では、12日23時50分頃突風による被害が発生し、福岡管区気象台は気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣して現地調査を行い、「被害をもたらした突風の種類は、ダウンバーストの可能性が高い」と発表した。気温は、平年を下回る日もあったが旬の平均では県内の多くの地域で平年並みだった。降水量は、県内ほぼ全域で平年を下回り複数の地点でかなり下回った。日照時間は、県内全域で平年を上回り多くの地点でかなり上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、8.3～11.2℃（平年差 -0.6～+0.7℃）で、ほぼ平

年並みだった。旬降水量は、10.0～33.0mm（平年比 23～81%）で、県内のほとんどの地点で少ないかかなり少なかった。旬日照時間は、平年比 123～155%で、県内多くの地点でかなり多かった。

下旬：晴れの日が多かったが、天気は短い周期で変化 高温・少雨

21日は、福岡で「そめいよしの」の開花を観測

29日は、福岡で「そめいよしの」の満開を観測

- ・期間を通して、高気圧と低気圧や前線が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。21日と23日は、九州付近を前線や上空の気圧の谷が通過したため、一時雨となった所があった。その後は雲が広がったものの晴れの日が多かった。
- ・気温は、前半は平年を下回る日もあったが旬の平均では県内の多くの地域でかなり上回った。降水量は、県内全域で平年を下回りほとんどの地点でかなり下回った。日照時間は、県内全域で平年を上回り、複数の地点でかなり上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、11.1～13.5℃（平年差 +1.0～+2.7℃）で、平年よりかなり高い地点が多かった。旬降水量は、1.5～20.0mm（平年比 3～40%）で、県内のほとんどの地点でかなり少なかった。旬日照時間は、平年比 128～140%で、県内全域で平年より多かった。

## (4) 4月の気象概況

上旬：晴れの日が多かったが、期間のはじめと終わりは上空の寒気や低気圧の影響で雨が降った 多照

1日から2日にかけて、「落雷と降ひょうに関する福岡県気象情報」を発表

9日から10日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、期間のはじめと終わりは上空の寒気や低気圧の影響を受け曇りや雨となった日があった。低気圧が九州北部地方を通過した7日から8日にかけてと9日から10日にかけては、雷雨となった所があり、それぞれの期間で4.5～19.0mm、14.0～37.0mmの雨量を観測した。
- ・気温は、前半は平年を下回ったが旬の平均では県内の多くの地点で平年並だった。降水量は、県内のほとんどの地点で平年並だった。日照時間は、県内全域で平年をかなり上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、11.5～13.8℃（平年差 -0.8～+1.0℃）で、平年並みの地点が多かった。旬降水量は、24.5～53.0mm（平年比 49～95%）で、県内のほとんどの地点で平年並だった。旬日照時間は、平年比 138～150%で、県内全域で平年よりかなり多かった。

中旬：前半は寒気や気圧の谷、前線の影響で曇りや雨 後半は高気圧に覆われ晴れの日が多かった

- ・期間の前半は、寒気や気圧の谷の影響で曇りの日が多く、14日は寒冷前線が南下したため雨となった。後半は高気圧に覆われて晴れの日が多く、温かい空気の流れ込みで夏日となった所があった。
- ・気温は、前半と後半で寒暖の変動が大きく、前半は平年を概ね下回り後半は大きく上回った日があった。降水量は県内各地で平年より少なく、かなり少ない所もあった。日照時間は、県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、13.2～15.4℃（平年差 -0.9～+0.6℃）で、平年並みの地点が多かった。旬降水量は、0.5～12.0mm（平年比 2～28%）と少なく、かなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 107～127%で、県内のほとんどの地点で平年より多かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった 寡照

- ・期間のはじめと 27 日は高気圧に覆われて晴れたが、その他の日は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。特に低気圧の影響を受けた 23 日から 24 日にかけてと 29 日から 30 日にかけては県内各地で雨となり、それぞれの期間で 10.0～24.5mm、36.5～62.0mm の雨量を観測した。
- ・気温は、前半と後半で寒暖の変動が大きく、前半は平年を大きく上回る日があり後半は下回った。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は県内各地で平年を大きく下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、15.9～17.9℃（平年差 +0.4～+1.4℃）で、ほとんどの地点で平年より高かった。旬降水量は、50.0～87.5mm（平年比 103～185%）と平年より多く、かなり多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 48～63%で、県内のほとんどの地点で平年よりかなり少なかった。



## (5) 5月の気象概況

上旬：高気圧に覆われて概ね晴れた日が多かったが、後半に弱い雨が降った日があった 少雨 多照

7日は、朝倉で「日最大風速・風向」の5月の極値を更新

8日は、大牟田で「日最低気温の低い方から」の5月の極値を更新

- ・期間を通して高気圧に覆われて概ね晴れた日が多かったが、後半に弱い雨が降った日があった。
- ・気温は、前半は平年を上回る日があったが、旬の平均では平年並みか平年を下回った。降水量は県内全地点で平年をかなり下回り、日照時間は県内各地で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $16.4\sim 18.8^{\circ}\text{C}$ （平年差  $-1.2\sim +0.3^{\circ}\text{C}$ ）で、平年並みか平年を下回った。旬降水量は、 $0.0\sim 10.0\text{mm}$ （平年比  $0\sim 14\%$ ）と県内全地点でかなり少なかった。旬日照時間は、平年比  $137\sim 164\%$ で、県内のほとんどの地点で平年よりかなり多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、期間の終わりは曇りや雨となった 高温

12日は、朝倉で「日最大風速・風向」の5月の極値を更新

18日は、八幡で「日最大風速・風向」、「日最大瞬間風速・風向」の5月の極値を更新

- ・期間の中頃にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多く真夏日を観測した日も多かったが、期間の終わりは低気圧や前線の影響で曇りや雨となった。
- ・気温は、期間の中頃にかけて平年を大きく上回る日が多く、旬の平均でも県内各地で平年を大きく上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は平年を上回った地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $19.7\sim 22.6^{\circ}\text{C}$ （平年差  $+2.3\sim +3.6^{\circ}\text{C}$ ）で、平年よりかなり高かった。旬降水量は、 $9.5\sim 39.0\text{mm}$ （平年比  $25\sim 63\%$ ）と平年並か平年より少なかった。旬日照時間は、平年比  $94\sim 120\%$ と概ね平年並で平年より多い地点もあった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、27日から28日にかけてと31日は雨となった

24日から26日にかけて、空港北町、行橋、添田、前原、博多、太宰府で「日最高気温の高い方から」の5月の極値を更新

27日は、朝倉で「日最大風速・風向」の5月の極値を更新

福岡、八幡で「月平均気温の高い方から」の5月の極値を更新

添田、宗像、空港北町、行橋、朝倉、英彦山、耳納山、黒木で「月降水量の少ない方から」の5月の極値を更新

- ・期間の中頃にかけて高気圧に覆われて晴れとなり、最高気温が30℃以上の真夏日を観測した日が多かった。24日から26日にかけては「日最高気温の高い方から」の5月の極値を更新した所があった。27日から28日にかけてと31日は前線や気圧の谷の影響で雨となり、それぞれの期間で5.5～23.5mm、0.5～6.0mmの雨量を観測した。
- ・気温は、期間の中頃にかけて平年を大きく上回る日が多く、旬の平均でも県内各地で平年を大きく上回った地点が多かった。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は平年を大きく上回った地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、19.6～22.5℃（平年差 +0.2～+2.4℃）で、平年よりかなり高い地点が多かった。旬降水量は、6.0～25.5mm（平年比 14～57%）と平年より少なかった。旬日照時間は、平年比 123～144%と平年よりかなり多い地点が多かった。

## (6) 6月の気象概況

上旬：天気は数日の周期で変化 4日と、6日から8日にかけて低気圧や前線の影響により雨 高温

7日は、空港北町で「日最大1時間降水量、日最大10分間降水量」の6月の極値を更新

前原、添田で「日最大瞬間風速・風向」の6月の極値を更新

6日から7日にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・天気は数日の周期で変化したものの、期間の中頃にかけて日中は高気圧に覆われて晴れの日が多く、気温は多くの地点で平年を大きく上回った。4日と6日から8日にかけて前線や気圧の谷の影響で雨となり、特に、7日は日降水量が30mm以上を観測した地点が複数あった。
- ・気温は、期間の中頃にかけて平年を大きく上回る日が多く、旬の平均でも県内で平年を大きく上回った地点が多かった。降水量は県内各地で平年並みか平年より多く、日照時間は平年並みの地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、21.8～23.8℃（平年差 +0.9～+1.8℃）で、平年よりかなり高い地点が多かった。旬降水量は、20.5～93.5mm（平年比 46～181%）と平年並みか平年より多かった。旬日照時間は、平年比 75～113%と平年並みが多かった。

中旬：天気は数日の周期で変化 14日から15日にかけて低気圧や前線の影響により雨

11日と19日は、「少雨に関する福岡県気象情報」を発表

14日から15日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・天気は高気圧と低気圧や湿った空気の影響を受けて数日の周期で変化した。この時期としては晴れた日が多かったが、北に中心を持つ高気圧に覆われたため気温は県内の殆どの地点で低く推移した。14日から15日にかけては、九州の南海上を低気圧が発達しながら北東に進んだため、15日の日降水量は10.5～74.0mmで、50mm以上を観測した地点も複数あった。
- ・気温は、期間を通して平年を下回る日が多く、旬の平均でも県内の殆どの地点で平年を下回った。降水量は県内各地で平年並みか平年より少なく、

日照時間は県内の殆どの地点で平年より多かった。

- ・県内各地の旬平均気温は、20.5～23.1℃（平年差 -1.8～-0.1℃）と平年より低い地点が多かった。旬降水量は、11.0～88.5mm（平年比 11～125%）と平年並みか平年より少なかった。旬日照時間は、平年比 114～155%と平年より多かった。

下旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、後半は前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨

26日頃に九州北部地方は梅雨入り（平年比 21日遅い・昨年比 21日遅い）

28日から30日にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

29日は、空港北町で「日最大瞬間風速・風向」の6月の極値を更新

宗像、八幡、久留米、黒木、大牟田で「月間日照時間の多い方から」の6月の極値を更新

- ・期間の前半は、はじめ気圧の谷や湿った空気の影響で曇りの日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。26日は九州南部から北上した前線の影響で雨となり、九州北部地方では平年や昨年と比べ 21日遅く梅雨入りを発表した。その後は梅雨前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨となった。
- ・気温は、期間の前半に平年を下回る日があったが後半は平年を上回り、旬の平均では県内のほとんどの地点で平年を上回った。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.1～25.2℃（平年差 -0.7～1.2℃）と平年並で平年より高い地点もあった。旬降水量は、23.0～120.5mm（平年比 15～53%）と平年より少なかった。旬日照時間は、平年比 132～188%と平年より多くかなり多い地点もあった。

## (7) 7月の気象概況

上旬：期間の中頃に晴れた日があったが、その他の日は前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨

1日から3日にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

10日は、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間のはじめは、九州付近で梅雨前線の活動が活発となり曇りや雨となった。中頃は梅雨前線が九州の南海上まで南下し晴れの日もあったが、終わりには九州付近まで北上した前線や低気圧の影響で曇りや雨となった。
- ・気温は、期間の中頃に平年を上回った所があったが、概ね平年を下回り、旬の平均では県内各地で平年を下回った。降水量、日照時間共に県内各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.4～24.9℃（平年差 -0.7～-1.8℃）で平年より低かった。旬降水量は、13.0～145.5mm（平年比 13～99%）で筑後地方を中心に平年並だったが、県内では平年より少ない地点が多かった。旬日照時間は、平年比 47～88%と概ね平年並で平年より少ない地点もあった。

中旬：天気は数日の周期で変化 13日と18日は梅雨前線の活動が活発となり大雨

10日から11日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

18日から19日にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表、19日に「台風第5号に関する福岡県気象情報」に表題を切り替えて発表、期間内継続

18日は、宗像で「日最大10分間降水量」の年の極値を更新

- ・天気は数日の周期で変化し、13日と18日は九州付近で梅雨前線の活動が活発となり大雨となった。また、期間の終わりは台風第5号が東シナ海を北上して九州付近には湿った暖かい空気が断続的に流れ込み雨となった。
- ・気温は、期間の中頃に平年並みとなった所があったが概ね平年を下回り、旬の平均では県内各地で平年を下回った。降水量は県内各地で平年並みか平年より多く、日照時間は県内各地で平年を下回りかなり少ない地点もあった。

- ・県内各地の旬平均気温は、23.9～25.7℃（平年差 -1.2～-2.6℃）で平年より低かった。旬降水量は、102.5～263.0mm（平年比 82～190%）で筑後地方では平年並みの地点が多かったが、県内の他の地方では平年より多かった。旬日照時間は、平年比 47～69%と県内各地で平年より少なく、かなり少ない地点もあった。

下旬：21日は、台風第5号の影響と梅雨前線の活動が活発となり大雨

21日から23日にかけて、「台風第5号に関する福岡県気象情報」から引き継いだ「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

24日頃に九州北部地方は梅雨明け（平年比5日遅い・昨年比15日遅い）

21日は、久留米で「日降水量、日最大1時間降水量、日最大10分間降水量」の年の極値を更新

- ・期間のはじめは朝鮮半島を通過した台風第5号の影響や日本海付近で梅雨前線の活動が活発となり大雨となった。また期間の中頃からは太平洋高気圧が次第に張り出して、24日頃には九州北部地方は梅雨明けとなった。その後は晴れの日が多かったが、期間の終わりは高気圧の周辺部となったことや上空に寒気が入った影響で大気の状態が不安定となり、雨が降り雷を伴う日もあった。
- ・気温は、期間のはじめに平年を下回った所があったが、旬の平均では県内各地で平年並みか平年を上回った。降水量は平年並みか平年より多く、筑後地方では平年よりかなり多い所が多かった。日照時間は県内各地で平年並みか平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、27.1～29.3℃（平年差 0.1～1.5℃）で平年並みか平年より高かった。旬降水量は、17.0～430.5mm（平年比 31～744%）で県内各地で平年並みか平年より多かった。筑後地方ではほとんどの地点で平年よりかなり多く、特に久留米では21日に「日降水量、日最大1時間降水量、日最大10分間降水量」の年の極値を更新した。旬日照時間は、平年比 63～99%と県内各地で平年並みか平年より少なかった。

## (8) 8月の気象概況

上旬：期間を通して高気圧に覆われ晴れて猛暑日が多かったが、中頃は台風や湿った空気の影響を受けた

4日から6日にかけて、「台風第8号に関する福岡県気象情報」を発表

8日は、「長期間の高温に関する福岡県気象情報」を発表

6日は、朝倉で「日最大風速・風向」の月の極値を更新

- ・期間を通して太平洋高気圧に覆われ晴れて猛暑日が多かった。6日は台風第8号が宮崎県に上陸し九州を縦断したため大荒れの天気となった。その後は再び高気圧に覆われ猛暑が続き、7日と8日は湿った空気の流れ込みや強い日射の影響で雷雨となった所があった。
- ・気温は、6日は平年を下回ったがその他の日は平年を上回り、旬の平均では県内各地で平年を上回った。降水量は平年を上回る所もあったが概ね平年並であった。日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、27.4～30.3℃（平年差 0.6～2.1℃）で平年より高くかなり高い所もあった。旬降水量は、25.0～132.0mm（平年比 57～189%）で平年並みか平年より多かった。旬日照時間は、平年比 108～137%と平年並みか平年より多かった。

中旬：期間のはじめは高気圧に覆われて晴れ、中頃は台風、終わりは前線の影響で大雨

13日から15日にかけて、「台風第10号に関する福岡県気象情報」を発表

19日から20日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間のはじめは太平洋高気圧に覆われ晴れて県内の各地で猛暑日となったが、14日から15日にかけて台風第10号が日向灘から伊予灘を北上して広島県呉市付近に上陸し、15日は大雨となった。台風が遠ざかった後は一時的に太平洋高気圧に覆われたが、期間の終わりは太平洋高気圧の周辺部となり、また前線の影響を受けて曇りや雷を伴う大雨となった。
- ・気温は、はじめは平年を上回ったが15日と期間の終わりは平年を下回り、旬の平均では県内各地で平年並みか平年を上回った。降水量は、殆どの地点で平年を上回りかなり上回った所もあった。日照時間は、県内各地で平年を下回った。

- ・県内各地の旬平均気温は、26.9～28.9℃（平年差-0.2～1.1℃）で平年並みか平年より高かった。旬降水量は、69.0～278.5mm（平年比 121～323%）で殆どの地点で平年より多くかなり多い所もあった。旬日照時間は、平年比 63～85%と全地点で平年より少なかった。

下旬：期間のはじめは晴れ間もあったが、中頃からは前線の影響で大雨 低温  
多雨 寡照

26 日から 30 日にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報  
（記録的な大雨に関する福岡県気象情報を含む）」を公表

28 日は、筑後地方に「大雨特別警報」を公表

30 日は、「日照不足に関する福岡県気象情報」を公表

26 日は、久留米で「日最低気温の低い方から」「日最高気温の低い方から」  
の 8 月の極値を更新

28 日は、朝倉、久留米、黒木で「日降水量」、耳納山で「日降水量」「日  
最大 1 時間降水量」、柳川で「日最大 10 分間降水量」の 8 月の極値を更  
新

29 日は、宗像で「日最大 10 分間降水量」の 8 月の極値を更新

英彦山、耳納山で、「月降水量の多い方から」の 8 月の極値を更新

- ・期間のはじめは太平洋高気圧に覆われ晴れた日もあったが、中頃からは前線が九州付近に停滞し曇りや雨となり、27 日から 28 日にかけて前線の影響を受けて雷を伴う大雨となり、28 日は筑後地方に大雨特別警報を公表した。
- ・気温は、はじめは平年を上回った所があったがその後は平年を下回り、旬の平均では県内殆どの地点で平年をかなり下回った。降水量は、全地点で平年をかなり上回った。日照時間は、全地点で平年をかなり下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.5～25.8℃（平年差-2.7～-1.1℃）で殆どの地点で平年よりかなり低かった。旬降水量は、164.0～491.5mm（平年比 297～704%）で全地点で平年よりかなり多かった。旬日照時間は、平年比 18～44%と全地点で平年よりかなり少なかった。



## (9) 9月の気象概況

上旬：期間のはじめは前線の影響で曇りや雨、その後は晴れた日もあったが湿った空気の影響で曇りの日が多かった

6日、8日、9日、10日は、「高温注意情報」を発表

7日は、八幡と博多で「日最低気温の高い方から」の9月の極値を更新

- ・期間のはじめは前線の影響で曇りや雨となり、雷を伴い激しく降った日もあった。その後も湿った空気の影響で雲が広がりやすく曇りの日が多かった。期間の終わりには高気圧に覆われて晴れの天気となったが、強い日射の影響で局地的に雷雨となった日があった。また、強い日射で気温が上がり最高気温が35℃を超える猛暑日となった所もあった。
- ・気温は、はじめは平年を下回ったがその後は平年を上回り、旬の平均では県内全地点で平年を上回った。降水量は、平年をやや下回った地点が多かったが、上回った地点もあった。日照時間は、平年をやや下回った地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、25.6～27.8℃（平年差 0.7～2.2℃）で平年より高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、35.5～98.0mm（平年比 47～174%）で平年並か平年より多かった。旬日照時間は、平年比 62～104%と平年並で平年より少ない地点もあった。

中旬：期間を通して高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、20日は前線や湿った空気の影響で雨となった 多照

11日、15日は、「高温注意情報」を発表

20日は、「台風第17号に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間のはじめは気圧の谷や湿った空気の影響で曇りの日もあったが、その後は高気圧に覆われて概ね晴れの日が続いた。20日は九州の南海上の前線や湿った空気の影響で雨となった。
- ・気温は、期間の終わりは平年を下回ったが前半は平年を大きく上回り、旬の平均では県内全地点で平年を上回った。降水量は、県内全地点で平年を下回り、日照時間は、県内全地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.9～26.4℃（平年差 0.2～2.2℃）で平年より高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、3.5～41.0mm（平年比 6～71%）

で平年より少ない地点が多く、かなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 118～154%と平年よりかなり多い地点が多かった。

下旬：期間のはじめは台風第 17 号の影響で大荒れ 後半は前線の影響で曇りや雨

21 日から 23 日にかけて、「台風第 17 号に関する福岡県気象情報」を発表（20 日に発表した情報第 1 号から継続して発表）

22 日は、朝倉で「日最大風速・風向」の年の極値を更新

22 日から 23 日にかけて、前原、博多、朝倉、久留米で「日最大瞬間風速・風向」の年の極値を更新

宗像、八幡、行橋、添田、黒木、大牟田で「日最大瞬間風速・風向」の 9 月の極値を更新

- ・22 日から 23 日にかけて、台風第 17 号が長崎の西海上から対馬海峡を通過して日本海に進んだ。このため、22 日夜から 23 日明け方にかけて県内各地で暴風が吹き大荒れの天気となった。「日最大風速・風向」は、朝倉で南 20.0m/s を観測し年の極値を更新した。また、「日最大瞬間風速・風向」は、4 地点（前原：南 31.8m/s、博多：南 34.0m/s、朝倉：南西 31.4m/s、久留米：南 32.4m/s）で年の極値を更新し、その他に 6 地点で 9 月の極値を更新した。台風通過後の期間の中頃は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、終わりは前線や湿った空気の流れ込みで曇りや雨となった。
- ・気温は、期間のはじめは平年を下回った所があったが後半は平年を大きく上回り、旬の平均では県内全地点で平年を上回った。降水量は、県内殆どの地点で平年並みで、日照時間は、県内全地点で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、22.0～24.2℃（平年差 0.1～2.0℃）で全地点で平年より高かった。旬降水量は、19.0～154.5mm（平年比 37～152%）で殆どの地点で平年並だった。旬日照時間は、平年比 52～79%と平年より少なく、かなり少ない地点もあった。

## (10) 10月の気象概況

上旬：期間のはじめは台風第18号の影響で雨 その後は高気圧に覆われて概ね  
晴れ 高温

2日から3日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

10日は、「暴風と高波に関する福岡県気象情報」を発表

2日は、前原、博多、太宰府、添田で「日最高気温の高い方から」の10月  
の極値を更新

八幡、行橋で「日最低気温の高い方から」の10月の極値を更新

3日は、宗像で「日最低気温の高い方から」の10月の極値を更新

- ・2日から3日にかけて、台風第18号が東シナ海から朝鮮半島を通過し日本海に進んで温帯低気圧に変わった。南寄りの強風が吹き、暖かく湿った空気の流れ込みで大気の状態が不安定となったため「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表した。また、県内各地で真夏日となった地点が多く、「日最高気温の高い方から」、「日最低気温の高い方から」の10月の極値を更新した地点もあった。台風通過後は、期間の後半に低気圧の影響で曇りとなった日もあったが高気圧に覆われて晴れの日が多かった。
- ・気温は、期間の終わりに最低気温が平年を下回ったがその後は平年を上回り、旬の平均では県内全地点で平年をかなり上回った。降水量は、県内の多くの地点で平年を下回り、かなり下回った地点もあった。日照時間は、県内の殆どの地点で平年並だった。
- ・県内各地の旬平均気温は、21.3～23.5℃（平年差 1.2～3.0℃）で全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、0.5～18.0mm（平年比 6～50%）で平年より少ない地点が多く、かなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 92～108%と殆どの地点で平年並だった。

中旬：期間のはじめに台風第 19 号の影響を受けた 前半は晴れの日が多かったが、後半は低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった 11 日から 13 日にかけて、「暴風と高波に関する福岡県気象情報」を発表 18 日から 19 日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・11 日から 13 日にかけて、台風第 19 号が日本の南を北上し大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東や東北地方を通過し日本の東で温帯低気圧に変わった。台風と大陸の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、「暴風と高波に関する福岡県気象情報」を発表した。期間の中頃にかけて、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、その後は低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。特に 18 日は大気の状態が不安定で雷雨となった所があり、県内の多い所で約 60mm の日降水量を観測した。
- ・気温は、期間の中頃に平年を下回ったがその他の期間は平年を上回った。降水量は、筑後地方を中心に平年を下回った所があったが、多くの地点で平年を上回った。日照時間は、県内のほとんどの地点で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、17.4～20.0℃（平年差-0.7～1.2℃）で平年より高い地点が多かった。旬降水量は、9.0～65.5mm（平年比 34～244%）で平年より多い地点が多く、かなり多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 67～101%と平年より概ね少なく、かなり少ない地点もあった。

下旬：期間を通して晴れの日が多かったが、23 日から 25 日にかけて低気圧の影響でまとまった雨となった

- ・期間のはじめと中頃以降は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。23 日から 25 日にかけては九州の南岸を通過した低気圧の影響により各地でまとまった雨量となり、多い所では総降水量が 100 ミリを超える大雨となった。
- ・気温は、期間を通して平年を上回った。降水量は、各地で平年を上回り、大きく上回った地点も多かった。日照時間は、各地で平年を概ね上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、16.5～18.9℃（平年差 0.3～2.2℃）で平年より高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、19.5～118.0mm（平年比 146～518%）で平年より多く、かなり多い地点も多かった。旬日照時間は、平年比 101～110%と平年並であった。

## (11) 11月の気象概況

上旬：期間を通して晴れの日が多かったが、上空の気圧の谷の影響を受けて曇りとなった日があった 少雨

4日は、朝倉で「日最大風速・風向」の11月の極値を更新

1日と2日は、福岡で黄砂を観測、11月の黄砂は9年ぶり

- ・期間を通して、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。上空の気圧の谷の影響で曇りの日もあったが、降水量はかなり少なく、県内15か所の地点の内、期間中に1mm以上の降水を観測した地点は4か所だった。
- ・気温は、期間を通して平年並だった。降水量は、各地で平年を下回り、大きく下回った地点も多かった。日照時間は、全ての地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、13.3～16.3℃（平年差 -1.4～0.8℃）で全ての地点で平年並だった。旬降水量は、0.0～11.5mm（平年比 00～36%）で平年よりかなり少ない地点が多かった。旬日照時間は、平年比 123～147%と平年より多く、かなり多い地点もあった。

中旬：高気圧と前線や気圧の谷が交互に通過し天気は短い周期で変化した

11日は、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・高気圧に覆われて晴れた日も多かったが、11日、14日、18日は寒冷前線が通過して雨となった。前線通過後は一時的に寒気が流れ込み気温が下がった日があり寒暖の差が大きかった。また、15日、16日、20日の朝は寒気の影響や放射冷却現象により気温が下がり、霜の降りる目安となる最低気温3℃以下となった地点があった。
- ・気温は、期間の中頃と終わりは平年より低い日もあったが、期間を通して平年並か平年より高かった。降水量は、県内の多くの地点で平年並となり、少ないのは県北部の2地点だった。日照時間は、県内のほとんどの地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、11.3～14.7℃（平年差 -0.1～1.0℃）で全地点で平年並か平年より高かった。旬降水量は、2.0～25.0mm（平年比 26～113%）で平年並の地点が多かった。旬日照時間は、平年比 113～133%とほとんどの地点で平年より多かった。

下旬：期間のはじめと終わりに晴れた日もあったが、低気圧や前線、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった  
空港北町で「月降水量の少ない方から」の11月の極値を更新

- ・期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れた日もあったが、期間の中頃を中心に低気圧や前線、気圧の谷の影響で暖かく湿った空気に覆われて曇りや雨の日が多かった。
- ・気温は、期間のはじめと終わりは平年を下回る日もあったが、期間を通して平年を上回る日が多く大きく上回った日もあった。降水量は県内各地で平年を下回り、日照時間は県内各地で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、10.8～13.7℃（平年差 0.9～2.8℃）と全地点で平年より高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、5.5～23.0mm（平年比 19～67%）と平年並で平年より少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 73～119%で概ね平年並であった。

## (12) 12月の気象概況

上旬：期間の中頃まで低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、その後は晴れの日が多かった

1日から2日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表  
9日に、福岡で初霜を観測

- ・期間のはじめから中頃までは低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、1日は雷を伴いまとまった雨となった。県内の全地点で雨量を観測し、日雨量が30mm以上を観測した地点は13か所だった。7日以降は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。
- ・気温は、期間のはじめと終わりは平年を上回る日もあったが、期間を通して平年を下回る日が多く大きく上回った日もあった。降水量は県内各地で平年を上回り、日照時間は平年並か平年を下回り、特に前半は各地で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、6.9～10.3℃（平年差 -0.7～0.3℃）で平年並みか平年より低かった。旬降水量は、27.5～62.0mm（平年比 101～249%）と全地点で平年より多く平年よりかなり多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 67～102%で平年並か平年より少なかった。

中旬：期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多く、中頃は気圧の谷の影響で曇りや雨 高温

- ・期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多く、中頃は気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多かった。
- ・気温は、期間のはじめに平年を下回る日もあったが、その後は平年を上回る日が多く大きく上回った日もあった。降水量は県の北部は平年を下回り、南部では平年並か平年より多かった。日照時間は平年並か平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、8.9～11.6℃（平年差 2.3～3.3℃）で県内全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、2.0～21.5mm（平年比 13～179%）で県の北部で平年より少なく南部では平年より多い地点が多かった。旬日照時間は、平年比 102～132%で平年並か平年より多かった。

下旬：高気圧と低気圧や前線が交互に通過して、天気は短い周期で変化

多雨 寡照

31日は、朝倉で「日最大風速・風向」の12月の極値を更新

前原で「月間日照時間の少ない方から」の12月の極値を更新

- ・期間を通して、高気圧と低気圧や前線が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。
- ・気温は、28日は県内各地で平年を下回ったものの、期間を通して平年を上回った日が多く期間の終わりはかなり上回った。降水量は県内全域で平年を上回り、県南部を中心に平年をかなり上回った。日照時間は県内の殆どの地点で平年をかなり下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、6.8～9.7℃（平年差 1.0～1.8℃）で県内全地点で平年より高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、26.5～67.5mm（平年比 130～380%）で県内全地点で平年より多く南部を中心に平年よりかなり多い地点が多かった。旬日照時間は、平年比 36～68%で県内ほぼ全地点で平年よりかなり少なかった。



## (13) 月別値の階級区分

### 福岡の月別値の階級区分

年 月	月平均気温	月降水量	月日照時間
平成31年 1月	かなり高い	平年並	かなり多い
平成31年 2月	高い	少ない	平年並
平成31年 3月	かなり高い	平年並	かなり多い
平成31年 4月	高い	平年並	平年並
令和元年 5月	かなり高い	かなり少ない	かなり多い
令和元年 6月	平年並	少ない	かなり多い
令和元年 7月	低い	平年並	少ない
令和元年 8月	平年並	かなり多い	少ない
令和元年 9月	高い	平年並	平年並
令和元年10月	高い	多い	少ない
令和元年11月	高い	かなり少ない	かなり多い
令和元年12月	かなり高い	多い	少ない

### 階級区分について

気象要素の分布を値の大(高)、小(低)によって、「高い(多い)」、「平年並」、「低い(少ない)」の3階級を用い、平年から極端に異なった状況を表現する場合には、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」を補足的に用いています。3階級の出現率は「33.3%、33.3%、33.3%」(1:1:1)の等確率で、「かなり高い(多い)」、「かなり低い(少ない)」の出現率は10%です。